

開かれた議会 親しまれる議会を目指して

伊丹 夏 市議会 だより

令和7(2025)年8月7日 vol.256

CONTENTS

vol.256の主な内容

- P.2 …… 5月臨時会
- P.3 …… 6月定例会
- P.3~5… 代表質問
- P.6 …… 個人質問
- P.7 …… 議案審査
議決結果
- P.8 …… 人事

委員会の視察報告
市議会からのお知らせ
議長の活動報告
会議の予定

各議員の質問等の動画をスマートフォン等で簡単にご覧いただけるよう、二次元コードを掲載しています。

(通信費は利用者負担になります。)



伊丹市議会HP



伊丹市マスコット
たみまる

5月臨時会

令和7年第2回臨時会(5月16日～21日)では、議長、副議長、議会選出監査委員、各委員会の委員長・副委員長及び各委員が選任されるとともに、豊中市伊丹市クリーンランド議会議員が選出されました。

なお、議長、副議長の就任あいさつについては、ホームページや二次元コードからご覧いただけます。



加藤 光博 議長



川井田 清香 副議長



保田 憲司 監査委員



総務政策常任委員長
永松 敏彦



文教福祉常任委員長
岸田 真佐人



都市企業常任委員長
齊藤 真治



議会運営委員長
杉 一



飛行場問題対策
特別委員長
土井 秀勝



議会改革検討
特別委員長
北原 速男



市立伊丹病院検討
特別委員長
鈴木 隆広



総務政策常任委員会

(後列)
鈴木 隆広・山園 有理・杉 一・竹村 和人・土井 秀勝
(前列)
加柴 扶美・永松 敏彦(委員長)・原 直輝(副委員長)・川井田清香



文教福祉常任委員会(5月31日現在)

(後列)
保田 憲司・松浦 晴美・鈴木久美子・大江ひろと
(前列)
戸田 龍起・岸田真佐人(委員長)・篠原 光宏(副委員長)・泊 照彦



都市企業常任委員会

(後列)
大津留 求・花田康次郎・前田伸一郎・森 華奈子・高塚 伴子
(前列)
加藤 光博・齊藤 真治(委員長)・新内 善雄(副委員長)・北原 速男

委員会		委員長	副委員長	委員
議会運営委員会		杉 一	鈴木久美子	竹村 和人・山園 有理・齊藤 真治・永松 敏彦・土井 秀勝 原 直輝
特別委員会	飛行場問題対策	土井 秀勝	松浦 晴美	戸田 龍起・篠原 光宏・山園 有理・新内 善雄・森 華奈子
	議会改革検討	北原 速男	大江ひろと	高塚 伴子・杉 一・齊藤 真治・岸田真佐人・永松 敏彦
	市立伊丹病院検討	鈴木 隆広	大津留 求	泊 照彦・竹村 和人・保田 憲司・鈴木久美子・花田康次郎 加柴 扶美・前田伸一郎・原 直輝

豊中市伊丹市クリーンランド議会議員(6月9日現在)
泊 照彦(副議長)・新内 善雄(監査)・杉 一・岸田真佐人・永松 敏彦・森 華奈子

6月定例会

令和7年第3回定例会(6月2日～25日)では、各会派を代表して5人の議員が会派代表質問を行い、市政全般にわたる運営や将来の方針などが問われました。

その一部を紹介します。なお、詳細については、ホームページや二次元コードからご覧いただけます。

伊丹市議会 検索
市議会ホームページから
3つの方法でご覧いただけます。

- ①会議録検索システム(9月上旬に掲載予定)
- ②インターネット議会中継(ライブ・録画)
- ③代表質問・個人質問・一般質問・質疑の要旨



会派別議員一覧

伊丹市議会の会派構成は次のとおりです。

●公明党

代表 永松 敏彦
北原 速男
篠原 光宏
竹村 和人
松浦 晴美
前田伸一郎

●新政会

代表 杉 一
泊 照彦
(議長) 加藤 光博
戸田 龍起
土井 秀勝
花田康次郎

●伊丹維新の会

代表 齊藤 真治
大江ひろと
森 華奈子
鈴木 隆広
原 直輝

●フォーラム伊丹

代表 山園 有理
(監査委員) 保田 憲司
大津留 求
岸田真佐人

●創政会

代表 鈴木久美子
(副議長) 川井田清香
新内 善雄

○会派に属さない議員

高塚 伴子
加柴 扶美



代表質問

公明党 永松 敏彦 議員

近畿中央病院の診療休止に伴う市立伊丹病院への影響

問 統合新病院が令和9年度後半の開院を目指している中、令和7年度末に近畿中央病院の診療が休止することが発表された。統合新病院開院までの間に伊丹病院で講じる対応について伺う。

答 まずは、近畿中央病院が受け入れてきた患者を伊丹病院で出来る限り受け入れていくために、患者受入れ体制の整備に着手し、市民に不安が生じないよう、その方策を示す。また、近隣医療機関との機能分化、連携強化の取組の推進が必要不可欠となるため、関係機関と協力し、地域医療提供体制の整備を進める。さらに、近畿中央病

院の職員を出来る限り積極的に受け入れる検討を進め、統合新病院開院に必要な人材確保に努めていく必要があることから、統合新病院開院時には、希望する近畿中央病院の職員を統合新病院で採用する方針に変わりはない。



統合新病院完成イメージ

市バス特別乗車証に代わるサービス

問 市バス特別乗車証の交付対象者のうち、歩行が困難でバスの乗降が難しい方など、バスを利用出来ない方への代替サービスは。

促進することを目的に、本市に1年以上在住の70歳以上の高齢者や、一定以上の障害等級を持つ障がい者等を対象に、申請に基づき本年3月末現在、3万3,957人に交付している。また、市バス特別乗車証以外の移動を保障する制度として、重度障がい者・児や在宅寝たきり高齢者の生活行動範囲の拡大と社会参加の促進を図るため、福祉タクシーを利用する際の初乗り基本料金分を助

成する福祉タクシー利用券がある。市バス特別乗車証と福祉タクシー利用券の交付は選択制となっており、市バスによる移動が困難な方は福祉タクシー利用券を選ぶことで、市バスに代わる移動手段の確保につながっているものと認識している。現時点で、新たなサービスの実施は検討していないが、社会情勢等を注視しながら、必要な福祉施策の実施に努めていく。

答 市バス特別乗車証は高齢者等の移動権を保障し、社会参加を

新政会



杉 一 議員



習い事バウチャー制度※
～未来への投資～

市長が、子どもの可能性を広げ、伸ばすために考えている習い事バウチャー制度の実現には多額の

費用が必要となる。対象とする習い事の範囲や所得制限等について伺う。

現在、具体的な制度設計に取り組み始め、来年度以降の実施に向けて検討している。事業者の設定

基準、習い事の範囲、所得制限、財源の問題などは検討すべき項目と認識している。既に同様の取組をしている自治体では事業者を登録制にしており、人口規模や財政状況などに応じて様々な制度設計をしている。他市事例を参考に、保護者の意見も踏まえ、市民全体に占める小中学生の人口や財政状況に見合った制度づくりに向けて取り組む。

※習い事バウチャー制度…スポーツや文化・芸術、学習に係る習い事に対して一定の費用を助成する制度

伊丹空港における
発着回数と運用時間

運用時間の延長や発着枠の拡大に係る意見がある一方、騒音に対する意見もある。1日当たり370回の定期運航便の発着回数の拡大や、7時から21時までの運用時間の延長について、関係団体や市民に対し、いつ話をしていくのか、市長の見解を伺う。

期すことはもちろんのこと、その上でまちの発展に重要な役割を果たす地域資源として、伊丹空港を最大限に活用していくことが必要であると考え。2030年前後には全国の空港の中で伊丹空港のみが国際線の就航制限のある空港となる中、国際線就航を実現するためには多くの段階を経ていく必要がある。まずは、利用者ニーズや就航路線維持の観点から、国内長距離路線に係る規制緩和を、県や大阪国際空港周辺都市対策協議会と連携し、国土交通省などの関係機関に積極的に要望してい

く。その上で、今後、さらに航空業界や伊丹空港を取り巻く環境が変化し、発着回数や運用時間についても議論となった際には、市民にも説明していきたい。



伊丹空港(大阪国際空港)

これまでの歴史的経緯を踏まえ、環境と安全の問題に万全を

伊丹維新の会



齊藤 真治 議員



習い事バウチャー制度※の
導入に向けて

伊丹維新の会は、習い事バウチャー制度の導入に賛成の立場であるが、所得制限や対象年齢等について、市の見解を伺う。

や子育て世帯への支援の充実、環境づくりを進めている。習い事バウチャー制度は、この取組をさらに充実させるため、放課後や休日など学校にいない時間帯に着目し、多様な学びや体験の機会の創出を通じて、子どもたちの興味や個性を生かし、才能を伸ばす体験や学力向上により、子どもたちの可能性を広げ、一人ひとりの成長につなげていくための環境を整えようとするものである。現在、具体的な制度設計に向けて取組を始めたところであり、他市の取

組状況を参考に、所得制限を設けるのか、習い事の種類を限定するのか、また、対象年齢や助成金額をどうするのかといった制度内容を検討していく。来年度以降の実施を視野に、人口規模や財政状況に見合った制度構築に向けて、保護者の意見を踏まえつつ取り組む。

※習い事バウチャー制度…スポーツや文化・芸術、学習に係る習い事に対して一定の費用を助成する制度



市長退職金を成果報酬型へ

伊丹維新の会は、市長退職金を成果報酬型に変更することに賛成である。成果基準、評価期間及び評価対象について見解を伺う。

現在、市長退職金は、条例に基づき、給与月額に在職月数を乗じるなどして得た額を支払っている。市長退職金の成果報酬型は、市長の市政運営に対する外部評価と退職金を連動させようとするものであり、公約をはじめとする今後4年間の市政運営全

般について、外部の客観的意見に基づく評価を任期の4年目に実施し、その評価に応じた退職金の支給を想定している。今後、成果報酬の算定に必要な評価者や評価率を算出するための成果基準、及び、退職手当の支給に必要な規定整備の検討を進める。

フォーラム
伊丹



山園 有理 議員



近畿中央病院の診療休止が
跡地活用に与える影響

来年3月に近畿中央病院の診療が休止すると発表された。統合新病院開院まで1年以上の医療空白期間を生む可能性があり、跡地活用にも影響があると予想されるが、現状について伺う。

市は、近畿中央病院跡地活用に関する覚書に基づき、早期売却の実現に向けて協力している。昨年度、当病院の建築物の活用について具体的に検討を進める医療機関があったことから、本年4月には公立学校共済組合と合同で医療機関へのヒアリングを開始するなど、具体的な売却要望条件などの整理を積極的に進めている。

市職員への
カスタマーハラスメント

市職員へのカスタマーハラスメント対策の取組について伺う。

6月の法改正により、カスタハラによって労働者の就業環境が害されないよう、事業主に雇用管理上の措置義務を課すとともに、カスタハラ

に適切に対応するため、必要な体制整備等の義務を負わすことになった。市は、職員がカスタハラを含む各種ハラスメントを受けた場合の相談窓口を既に設置しており、心身に不調が生じている職員には、産業医や産業保健師につなぐ体制を整備しているが、カスタハラに特化したマニュアル等は整備していないため、今後は事業主が講ずべき安全配慮義務として、職員への支援体制

早期売却に向けた取組を進めている中、5月に当病院の診療休止が発表されたことから、跡地活用を検討している医療機関へ報告するとともに、公立学校共済組合と当病院の建築物の活用時期など、スケジュールの見直しを検討する。なお、物件調査や跡地売却に必要な測量などは計画的に進めるとともに、引き続き公立学校共済組合と医療機関へのヒアリングや現地説明会を実施するなど、医療機関がより一層具体的に検討を進めることができるよう取り組み、医療機能の空白期間の縮減や早期売却の実現に向けて進めていく。

とカスタハラ対策指針等のマニュアル策定を進める必要がある。



創政会



鈴木 久美子 議員



安心して暮らせるまちづくり
～地域医療体制・産後ケアの充実～

①地域医療の受け皿づくりへの取組と、②産前産後ケア事業では、ニーズの多い宿泊型施設が少ないという課題があるが、安心して子どもを産み育てられるための支援策は。

①来年3月末に近畿中央病院の診療が休止されるが、地域医療に与える影響を最小限に抑えるため、

近畿中央病院が受け入れている入院及び外来患者、救急搬送患者を出来る限り伊丹病院で受け入れるよう体制整備に取り組むことが必要である。また、地域医療提供体制の確保に向け、関係機関との協議の場の開催を調整している。②市内で出産できる施設が2か所のみなのは、大きな課題である。近年の産科施設を取り巻く環境は、分娩を取り扱う医師や助産師の不足、出生数の減少、リスク出産の増加など複数の課題を抱えており、産科施設の確保は非常に厳

しい状況である。一方、近隣の阪神間の施設で出産されている市民が約7割いることから、市は、市民のニーズが高い産後ケア事業の拡充を最優先事項として取り組んできた。今年度から、県内全域に利用可能な施設を拡充し、宿泊型施設も多く追加されるなど、産後の多様なニーズに沿ったケアができるよう事業拡大を図っている。



産後ケア事業の案内

公営企業の経営改善
～病院事業及び交通事業～

病院事業会計及び交通事業会計は慢性的な赤字構造となっているが、赤字公営企業の経営改善方針について見解を伺う。

病院事業及び交通事業は厳しい経営状況にあることから、病院経営強化プラン及び交通事業アクションプランを策定し、経営改善に取り組んでいる。病院事業は、統合新病院整備事業が進められており、開院時期見直しに伴い収支計画の見直しが必要だ

が、現時点で経営戦略の見直しは必要ないと認識している。交通事業は、昨年に運賃改定を実施するなど着実な経営改善の取組を進め、現在は、来年度以降の新たな経営戦略の策定に取り組んでいる。両事業は、市が継続して運営する必要があると認識している。

個人質問

代表質問のほか、16人の議員が個人質問を行いました。
ここでは、質問の項目のみを紹介します。
代表質問同様、詳細については、ホームページや二次元コードからご覧いただけます。



公明党

北原 速男 議員

●こども食堂の地域の居場所としての役割と地域交流支援の強化●南海トラフ巨大地震に備え感震ブレイカーの設置促進と補助制度の導入●阪急武庫川新駅整備に伴う本市への影響と今後の対応

篠原 光宏 議員

●#7119への参画にあたり、現行の電話での救急相談体制は●長引く物価高騰に苦しむ生活困窮者に対する食料支援●英語力アップに向けた取組

竹村 和人 議員

●消費生活センター●空き家の発生予防対策●介護離職防止に向けた取組

前田伸一郎 議員

●介護従事者の人材確保・継続支援●Well-beingを高める取組●学習eポータル「心の健康観察」

伊丹維新の会

大江ひろと 議員

●バスケットボール指導者による強制わいせつ事件後の学校園・教育委員会の対応●「市民の声」の見える化●カスタマーハラスメント

森 華奈子 議員

●学校施設の安全管理及び修繕計画●認知症施策と支援体制●多死社会における斎場の火葬運営計画

鈴木 隆広 議員

●子育て・教育●統合新病院への交通手段●商業活性化●伊丹空港の利便性確保●市バスの運用●オンデマンドバス

原 直輝 議員

●地域活力の創出●デジタル時代の安心と尊厳を守るまちづくり●子育て世代が選ぶまち伊丹へ

新政会

泊 照彦 議員

●管理職手当の見直し●税収入見直しと賃上げ格差の課題●市職員管理職級の階級の在り方と職務内容●優秀な人材を職員として確保する手立て●市営墓地の管理状況や合葬式墓地の利用状況、残骨灰の取り扱い状況●小学校トイレ清掃の管理●アルゼンチン蟻の増殖防除

土井 秀勝 議員

●HR戦略推進事業●公教育の再生に向けた校務DX

花田康次郎 議員

●自衛隊との連携、協力等●教育●男女共同参画事業

フォーラム伊丹

大津留 求 議員

●市長の考える「公共サービス」[行政運営]●大阪国際空港に対する本市の基本姿勢

岸田真佐人 議員

●市立学校のトイレ●不登校対策支援員の勤務●高架下スペースの公園化

創政会

新内 善雄 議員

●DX推進事業●自転車事故防止策

会派に属さない議員

高塚 伴子 議員

●議案第40号令和7年度一般会計補正予算●伊丹シティホテル●労働組合

加柴 扶美 議員

●国民健康保険税の市民負担軽減を●年度途中の保育所入所と保育士配置●近畿中央病院の診療休止

議案審査

令和7年第3回定例会では、**議案は24件**でした。
ここでは、専決処分報告を除く全議案と、これらの議案が付託された3つの委員会の内容をご紹介します。
なお、賛否が分かれた議案はありませんでした。

総務政策常任委員会

○令和7年度 一般会計補正予算



1億5,135万6千円を追加補正

◆子育て・教育環境の充実

・中学校部活動の地域移行後に必要となることが見込まれる、学校の施設整備のための調査・研究等が実施されます。

・私立保育所等の保育環境を改善するために、ICTを活用した業務支援システム等の導入が支援されます。

◆安全・安心のまちづくり

・令和8年度の新小学校1年生を対象に「まちなかミマモルメ」の利用促進に取り組まれます。

・市民の病気やケガの相談に専門家がアドバイスを行う救急安心センターひょうご事業(#7119)に参画されます。

◆生産性・組織力の向上

・人材の育成等に関する高度な知見を持った外部人材を活用し、人材マネジメントと職員エンゲージメントの向上が推進されます。

・DXの更なる推進のために全庁的なデジタルスキルの向上を図り、新たな行政サービスを創造できる人材育成が進められます。

その他の議案

- 行政手続条例の一部改正
- 一般職員勤務分限条例及び職員の育児休業等に関する条例の一部改正
- 市税条例の一部改正
- 物品の取得

文教福祉常任委員会

- 福祉医療費の助成に関する条例の一部改正
- 特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例及び家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正
- 物品の取得(2件)

都市企業常任委員会

- 産業振興センター条例の一部改正
- 病院事業の設置等に関する条例の一部改正

委員会付託なし

- 豊中市伊丹市クリーンランド議会議員の選挙
- 伊丹小学校大規模改造(第2期)ほか工事の請負契約
- 天王寺川中学校大規模改造(第1期)工事の請負契約
- 市営荻野団地9・10号館耐震補強ほか工事の請負契約
- (仮称)南地区交流センター整備工事の請負契約
- 副市長の選任
- 固定資産評価員の選任
- 新田中野財産区管理委員の選任
- 兵庫県後期高齢者医療広域連合議会議員の選挙
- 義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書
- 少人数学級推進と教職員定数改善を求める意見書
- 地方消費者行政に対する恒久的な財源確保等を求める意見書

議決結果

議案は、委員会審査のあと本会議で議決されます。
第3回定例会の**議案24件**全てが**可決・承認・決定**されました。



議案 **18**件
報告 **1**件
意見書 **3**件
選挙 **2**件

人事

6月定例会において、次の方々に同意・決定しました。(敬称略)

- ▽副市長 梶村 義則
- ▽固定資産評価員 梶村 義則
- ▽新田中野財産区管理委員 阪上 芳孝
- ▽兵庫県後期高齢者医療広域連合議会議員 梶村 義則

議長は、伊丹市議会を代表して広域的な会議などへの出席や、様々な行政課題の解決に向け取り組んでいます。(副議長が議長に代わって職務を行うこともあります。)ここでは、その一部を紹介します。

全国民間空港所在都市議会協議会

当協議会は、空港が所在する58都市の議会議長により組織され、空港の整備促進や周辺地区住民の民生安定、これに関連する財政問題等の解決を図ることを目的としています。



定期総会の様子

本市議長は協議会会長として、5月27、28日に役員会と定期総会を開催し、今年度の事業計画や予算を決定しました。今後、事業計画をもとに、会長である本市が中心となって国などに要望活動を行うなど、課題解決に向けて取り組んでいきます。

委員会の視察報告

総務政策常任委員会

(7/7) 宮城県 名取市
「名取市公式ポータルアプリ『ナトぼた』」



名取市

(7/8) 宮城県 仙台市
「防災における自助・共助の取組」

文教福祉常任委員会

(7/10) 東京都 福生市
「子育て支援事業の取組」



羽村市

(7/11) 東京都 羽村市
「英語教育の推進」

※詳細は、市議会ホームページでご覧いただけます。

市議会からのお知らせ

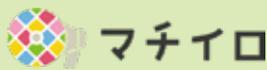
議員の寄附やあいさつ状は禁止されています。

議員は、選挙区内の人(法人、その他の団体を含む。)に対して、祭りなどへの寸志・差し入れ・お祝いなどの寄附や、年賀状・暑中見舞いなどの時候のあいさつ状(答礼のための自筆によるものを除く。)を出すことが、公職選挙法により禁止されています。また、議員に対する寄附の勧誘や要求も禁止されています。公正な政治活動をしていくために、ご理解とご協力をお願いいたします。

議員の辞職について

服部好廣議員は、令和7年5月30日付けで辞職されました。

アプリ「マチイロ」で伊丹市議会だよりをご覧頂けます



※アプリのダウンロード・利用は無料ですが、通信費は利用者負担になります。また、アプリの管理は運営会社によるものです。

視覚障がいのある方を対象に、「朗読ボランティアグループ玉手箱」の皆さんの協力により、市議会だよりを朗読録音したCDを提供しています。

希望される場合は、伊丹市立障害者福祉センター(アイ愛センター)へお申し込みください。

☎072-772-0221 ☎072-780-2897

会議の予定

日	月	火	水	木	金	土
8/31	9/1	2	3	4	5	6
	議会運営委員会	第4回定例会 本会議招集日 議員総会				
7	8	9	10	11	12	13
	議会運営委員会 本会議第2日 (議案質疑)		総務政策 常任委員会	文教福祉 常任委員会	都市企業 常任委員会	
14	15	16	17	18	19	20
			本会議第3日 (代表質問)	本会議第4日 (代表質問) (個人質問)	本会議第5日 (個人質問)	
21	22	23	24	25	26	27
	議会運営委員会 本会議第6日 (個人質問等) 決算審査 特別委員会			決算審査 特別委員会	決算審査 特別委員会	
28	29	30	10/1	2	3	4
	決算審査 特別委員会	決算審査 特別委員会	決算審査 特別委員会	決算審査 特別委員会		
5	6	7	8	9	10	11
			決算審査 特別委員会			
12	13	14	15	16	17	18
		議会運営委員会 本会議最終日 議員総会				

請願・陳情の受付は随時行っています。あなたの声を伊丹市議会へ。

【伊丹市議会だより】編集発行：伊丹市議会事務局議事課 〒664-8503 伊丹市千僧1丁目1番地(市役所3階)

☎072-780-4090 ☎072-784-8092 https://www.city.itami.lg.jp

伊丹市議会だよりは86,700部作成し、印刷費は1部あたり7.56円です。